

風まち・潮まち・港町

# みたら通志



●御手洗ものがたり

豪商鴻池の本殿寄進の謎

「特集」

広島大学土蔵調査六人衆に聞く  
御手洗をどう思う



土蔵調査六人衆

●ゆたかまちの味じまん

オレンシハウスの新鮮ないけす料理

「サザエの刺し身」

●なんでも伝言板

- ・重伝建を考える会による「輪押し
- ・「黄金の島」でみかん狩り
- ・せとうちおさんぽクルーズ第2弾



豊町商工会

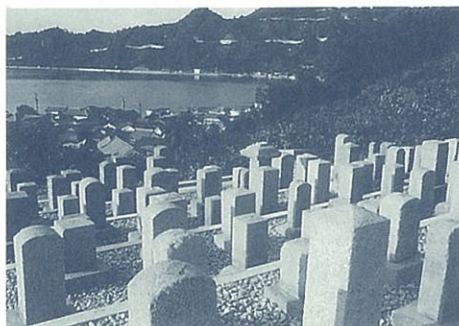
# 豊

## みらい通志

2003.10. No.12

長年の念願であった「遊女墓供養碑」が、歴史の見える丘公園の山すそに、多数の方々の貴重なご厚志を頂き、また浜口建設様、小桜石材様の物心両面でのご協力で完成の運びとなり、この上ない喜びと共に末永く供養していかねば……との思いをしております。観光客も年々増加、受け入れ態勢の充実、観光情報発信、5年後の3号橋開通を念頭に観光の強化を図るため、「観光協会」を設立いたします。どうかご理解を頂き、多くの方々にご入会ご協力頂きます様よろしくお願い致します。

(豊町商工会会長 村尾征之)



(写真上)御手洗の町並みと海が一望できる丘公園のそばに移設整備された百数十基の遊女墓。供養碑も完成。  
(写真中)広島大学の先生と学生たちが御手洗の土蔵調査にやってきた。合宿する中で町内の人たちとも交流を深めた。  
(写真下)大長港のすぐ目の前にある食堂「オレンジハウス」。新鮮ないけす料理が食べられる。

### 〔表紙の写真〕

重伝建を考える会の女性メンバーが「御手洗の町並みを四季の花々で彩ろう」と一輪挿しを考案。今年4月から町全体を花で飾る運動に乗り出した。軒先のすだれに取りつけた竹製の花入れに、各戸が季節の花を生けている。風情があつていいと、訪れる人たちにも好評。(写真提供:読売新聞)



## 御手洗ものがたり 12



# 豪商鴻池の本殿寄進の謎

住吉神社寄進帳から読み取れるもの

住吉神社は千砂子波止の根元の部分にある。前年完成していた千砂子波止(灯台のある波止・いわゆる大波止)の鎮守のために作られたものである。大阪の住吉神社の二分の一の縮刷で、大阪で木取りをおこない、文政一三年(一八三〇)閏三月一五日に大阪の木工の手によって上棟された。本殿、拝殿、覆い屋とおおきく三つに区分できるが、とりわけ本殿は縣魚(げぎよ)や破風の金物にいたるまで精緻に作られており、価値が高いと言われている。

この住吉神社を建立するに当たって実に多くの人々の寄進がおこなわれているが、その寄進帳を見ると寄進者は全国にまたがっていることがわかる。

まず筆頭は本殿寄進の摂津大阪・鴻池善右衛門。華表(かひょう、鳥居のこ

と)寄進の摂津大阪・加島屋作兵衛、岸姫松は同じく摂津大阪・海部屋善治となっている。以下地元(三笠屋忠左衛門、竹原屋勘右衛門、若胡子屋吉太郎と続くのは当時彼らが地元の町年寄など



おいらんの名前が残っている住吉神社の玉垣。

村などから取り寄せられ、それに要する費用は、大崎原田村、東野村、沖浦村、中野村、明石村、大串村、豊島村、久比村、大浜村、斎島等々近辺の村々から集められている。

面白いのはここからで、灯油寄斗代として加州(加賀の国、今の石川県)本吉から・明断孫次郎ほか二名、同じく加州七尾から川崎屋源六、越前(今の福井県)三国・新保屋吉三郎、予州(伊予の国)菊間・岩国屋万勝というのがあり、また、石灯笼一对として日向延岡(宮崎県北部・内藤藩)石見屋清兵衛ほか一名の名前がある。

多くの石灯笼と鳥居前の橋(建築当初は木造の太鼓橋だった)は大阪や大阪

大阪の住吉神社の要所を2分の1で再現している御手洗の住吉神社。海に近いせいかさらに屋根で保護されている。江戸時代のもの。



鴻池の商人一八名が寄付をしているが、これは鴻池善右衛門との関係でやったものと想像できるが、加賀の国や越前の国、あるいは日向延岡などからの寄進は、御手洗とこれらの国々との北前船による交易が、よほど深かった事を示しているものだと思う。

かつて御手洗の商人たちは日本中の商人相手に大きな商売をしていたのだと思うと、その気宇壮大さに圧倒されそうになってしまう。

ところで、御手洗にたくさん残っている資料の中で鴻池善右衛門の名前が出てくるのは、この住吉神社の建立に関するものだけで、あとにも先にも、これ以外には一切出てこないのはなぜだろうか。そもそも、大阪の豪商鴻池善右衛門が、なにもゆえに安芸藩の小さな島の本殿を寄進する気になったのだらうか。ずらずらと名前を書き連ねただけの「住吉大神宮寄進帳」から様々なドラマが想像できる。



江戸時代は木造の太鼓橋だったといわれる神社前の橋。明治になって石に架け替えられた。

〔特集〕 広島大学土蔵調査六人衆に聞く

# 御手洗をどう思う

見参!



広島大学土蔵調査六人衆



写真上／見たこともないような珍しい品にも驚いたが、何より持ち主すらすべてを把握しきれないその量にびっくり。

写真右／鞆田家に集結した土蔵調査6人衆。ふるさと学園で自炊しながら普段はできないゆかいな(?)合宿生活を送った。

7月31日～8月4日、広島大学から御手洗に土蔵調査六人衆がやってきた。この町で過ごした数日間、彼らの目に御手洗はどんなふうに映っただろうか。調査を終えた学生たちにナマの声を聞いてみた。

**六人衆が感じた御手洗とは？**

手つかずのまま眠っている蔵の中を調査整理しよう。そんな話が持ち上がり、7月31日～8月4日の5日間、御手洗の鞆田家で土蔵調査が行われた。調査合宿に参加したのは、広島大学のフंक先生、松浦さん、戸田さん、光武くん、前さん、中村さんの通称「土蔵調査六人衆」。島の外から来た彼らは、御手洗の町をどう感じ、何を思いながら過ごしたのだろうか。調査を終えたばかりの8月8日、大学のキャンパスで松浦さん、戸田さん、光武くんの4年生組に集まってもらい話を聞いた。

御手洗や蔵の調査に興味を持って参加したという3人。御手洗の印象は？「行く前はただ昔の町並みが残る



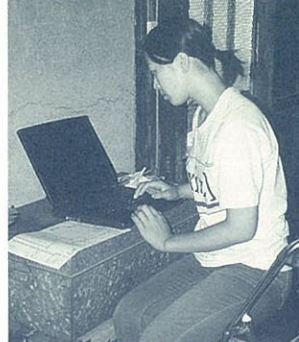
土蔵調査の方法を事前に元宮島町町誌編さん室の岡崎さん（中央）に聞いた。

大きく立派な鞆田家の土蔵。歴史の重みがつまっている。





大学の一角にて、御手洗での合宿をみんなでワイワイ振り返る。「ここから見える景色がきれいだった」「セミが網戸にビッシリ!」「夜が静かだいい。これでバンコなんか出してビールでも飲める場所があれば…」あれもこれも楽しい思い出。



写真上/1階と2階に分かれての入力作業。「うーん、これはどこに分類されるんだろう…?」写真右/感嘆の声が上がる逸品から思わず首をひねってしまう珍品までその種類はさまざま。



町、という感じでした。実際に行くと花が家々に飾ってあるのとかいろいろ見て、すごいなあと。純粹にワクワクしました。町の人の挨拶したら返ってくるのが嬉しかったです」と話すのは松浦さん。交通費は高いし、船は少ないし、店も少ない御手洗。でも、「その代わり生活の中にゆとりがある気がします」。

**町民みなガイドの意識が好き**  
戸田さんはもと自分自身が田舎の人間だったため、御手洗を特別な地域とは思わなかったという。「古い建物の価値がどうかよりも、むしろそこで町づくりに取り組んでいる人たちの姿勢の方に興味を持ちました。たとえば「町民みなガイド」自分たちのできる範囲で無理をせずにやっていこうという意識が好きです」。「最初に來たのが実習授業の「おさんぽクルーズ」で、港からすぐ潮待ち館へ行ってボランティアガイドに付いてコースを回ったので、なんて体制の整ったところなんだ!と思いました」とは光武くん。ただ、御手洗を何も知らずに來る旅行者にとっては、過ごしにくい場所かもしれないとの疑問もある。「例えばお店が閉まる時間とか、御手洗の決まりごとみたいなものももっとわかりやすく伝われば、状況もまた変わってくるんじゃないかと思えます」。

それぞれに意見はあるけど、3人が口を揃えるのは「御手洗はいい町」。「人のやさしさに感激」また御手洗を訪ねたいと語る。

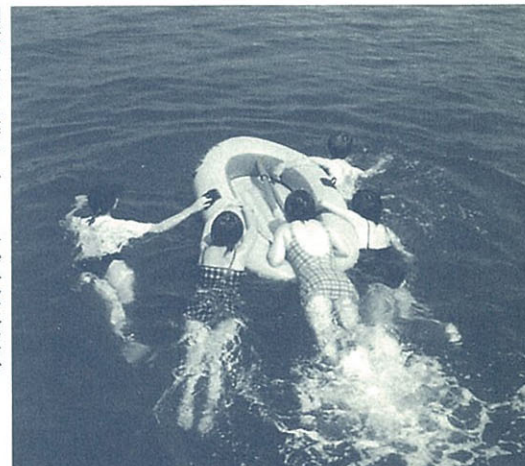


おいしい差し入れ料理に舌鼓を打つ。「フंक先生とみんながひとつしかない「おたま」をめぐる火花を散らす一幕も…」にぎやかに夜は更ける。



合宿2日目の夜、町の人たちも集まって持ち寄りパーティーの開催。

調査の合同に海へとゴー!千砂子波止の前が六人衆の海水浴場。せっかく島に來たからにはやっぱり泳がなくては。



# 御手洗をどう思う？



御手洗で過ごして感じたのはどんなこと？  
町や人の印象、好きなどころ、不思議に思うこと  
などを六人衆に聞いてみました。



【広島大学 総合科学部助教】

Funck Carolin

(フンク・カロリン)

プロフィール ドイツ出身。年齢は「書かなくてもいい歳」。専門科目は観光地理学。瀬戸内海とその周辺、イギリスやドイツのリゾート地などをフィールドとしている。趣味は合気道、ヨット。

時間の流れが違う。特に、御手洗の港はとても落ち着きます。

御手洗のことは以前から知ってはいたが、訪れたのは昨年3月にあった中国運輸局主催の「海の駅モニターツアー」が初めて。それ以来、御手洗には10回近く訪れています。初めてきたときは、他の重伝建地区と同じく、もっと観光化されていると思っていた。今回の調査は、学生達が「やりたい」と言いましたので、指導者としてついてきたという感じがな。御手洗の人たちは面白かったです。土曜日のパーティーで初めてお会いした方もいましたが、もっと、いろいろな話を聞きたいと思いました。御手洗でいいな、と思うところは、時間の流れが違う。非常にかつてなことですが、完全にストレスが抜ける場所です。特に、御手洗の港（階段のあるところ）はとても落ち着きます。

## ●御手洗のココが不思議

なぜ、店は日曜日に皆閉まるのか。そこそこ、観光客が来ているのに、皆閉まっています。食べ物がないということで困ったという話をよく聞きます。



【広島大学 総合科学部4年】

松浦 直美

(まつうらなのみ)

プロフィール 広島県出身。22歳。趣味はマリンスポーツ、旅行。特技は柔軟。今回の調査に参加したのは、以前、蔵の中を見せてもらった時にとても楽しかったのと、卒論で瀬戸内の島の観光をとり上げようと思っているので。

こぢんまりとした町で、自分の足で歩き回って把握できる感じが良い。

御手洗に来る前はほとんど何のイメージも持たず、ただ昔の町並みの残る地域、という感じだったが、何度か訪れるにつれて、知り合いも増え、御手洗についての知識も増えて、特別な思い入れのある地域になった。交通費は高いし、船は少ないし、店も少ないけど、その代わり生活の中にゆとりがある。まだまだ御手洗初心者なので、知らないことも山ほどあるけれど、御手洗の抱える問題についても知っていききたい。御手洗でいいなと思ったのは星がきれいなおとろ。流れ星もたくさん見えた。夜は本当に静かで、違う場所にいる、ということがはっきり分かった。こぢんまりとした町で、自分の足で歩き回って把握できる感じが良い。どこからでもすぐ海に出られて、海を見ながら夕涼みできる。

## ●御手洗のココが不思議

ふるさと学園の宿泊費が、誰に聞いてもハッキリ分からない。ヘルメットをかぶっていない原付の人が多い。海水浴場があると聞いて探しに行ったが、「海水浴場」のイメージをくつがえされた。



【広島大学 総合科学部4年】

光武 昌作

(みつたけしょうさく)

プロフィール 佐賀県出身。21歳。趣味はトライアスロン、ランニング、自転車旅行など。今回の調査に参加したのは未知への好奇心と、「やりたいか？」と問われて「やりたいです!!」と大声で答えた自分の責任感から。

好きな場所は鞆田邸、防波堤、住吉神社の裏の海、そこから見える景色、路地。

御手洗に来て改めて感じたのは、人が少ない、若い人がいない（高齢の人が多い）ということ。又、適度な外部からの刺激は、御手洗の人達にとっては新鮮で、ある程度必要なものかもしれないと思った。確かに何も知らずに来る人にとっては過ごしにくいかもしれないが、御手洗のいろんなルール（店が閉まる時間等）が分かりやすく伝われば、状況も変わらなう。今回の調査の中で自分が出会った御手洗の人達は、鞆田さん、長浜さん、今崎さん、下鍛冶さんくらいであるが、皆、今からの御手洗に大事なものは何かを、自分の立場から考えて、それを他の人々に分かりやすい形で伝える役割を果たしている人々だと思ふ。御手洗で好きな場所は鞆田邸と、鞆田邸から最短距離で行ったところの防波堤。住吉神社の裏の海。そこから見える景色。路地。

## ●御手洗のココが不思議

御手洗の人々は主にどこで買い物をしているのだろうか？近くの商店？大長のAコープ？郵便局が大きく立派。



【広島大学 総合科学部4年】

戸田 貴子  
(とだたかこ)

プロフィール 岡山県出身。22歳。趣味は演劇活動、お絵描き。特技は歩くのが苦にならない。今回の調査に参加したのは、前回の訪問で御手洗をもっと知りたいと思ったのと、頼田さんの印象がとても温かかったので、またお会いしたいとの気持ちから。

町並みも素晴らしいけれど、人  
会いに訪れたい、と思わせられました。

「観光地」ということで、もつとがつつとした姿を無意識に想像したのですが、それが無い。私は地方出身なので、古い町並みというだけで「めずらしい」とは思いませんでした。違うのは、住民の方々が居住空間が観光地であることを意識していること。地方の、普通の、町。ただ、栄光の歴史の名残と、現在の生活臭が同居していて、その加減がとても心地よかったです。それを支えている、みなさんが魅力的。御手洗のことを愛していて、誇りに思っていることが伝わってくる。がんばりすぎない、自分の暮らしの範囲を少し広げる形で観光を提供していて、受け手としては、その自然さ(日常の延長線上)がとても嬉しい。観光地として、努力はしているけれど、背伸びはしていない。その空気が私には合っていました。自分にとって非日常であるはずの観光先で、他人の生活の匂いに触れて、親しみを感じられる地だと思えます。「ええところはありませんか?」と挨拶を下さる、向こうから話しかけて下さる御手洗の人たち。町並みも素晴らしいけれど、人に会いに訪れたい、と思わせられました。

### ●御手洗のココが不思議

深夜、宿舎にタヌキが出たこと。頼田さんは「黒猫と白猫とたぬき」が一緒に歩くのを見たそう...



【広島大学 総合科学部2年】

中村 まるみ  
(なかむらまるみ)

プロフィール 鹿児島県出身。20歳。趣味はラクロス、水泳、読書。今回の調査に参加したのは、大学生活の間で多くの経験をした気持がよかったこと、調査内容に非常に興味を覚えたため。

イメージしていたよりもすごく小さくて、  
歴史がギョツとつまった所でした。

御手洗を知ったのはこの調査に関わることになってからです。御手洗はイメージしていたよりもすごく小さな所でした。しかし、長浜さんもおっしゃっていたように、歴史がギョツとつまった所でした。御手洗の人たちはとにかく元気で暖かかった。長浜さんが夜遅くまで御手洗の歴史について講義してくれたのは、大変役に立ちました。御手洗で好きなのは、夕日が大きいところ。展望台から見ると、みんなが食事を作ったり、先輩や長浜さんに御手洗のことを話してもらったりと、充実した合宿生活でした。

### ●御手洗のココが不思議

人が海にゴミを捨てているところをよく目にした。しかし、釣りをしたり、海を眺めつつ話をするところも見た。海の存在は人々にとってどんなものなのかよく分らなかった。



差し入れの肉じゃが、  
おいしかったなあ。



【広島大学 総合科学部2年】

前 美野子  
(まえみやこ)

プロフィール 宮城県出身。21歳。趣味は音楽鑑賞、お菓子作り。特技はどこでもすぐに寝られること。今回の調査に参加したのは、蔵に入る機会がそうないし、貴重な経験になると思ったから。シンブルに言えば、おもしろそうだったから。

初めて来たが、どこか懐しさのある  
町並みに不思議さを感じた。

御手洗を知ったのは、今回の調査の話を聞いたとき。御手洗のイメージは、地図を見てももう少し大きい町かと思っていたが、実際はこじんまりとした所だった。でも、それがかえって落ち着きがあった。いいと思う。細い道がたくさんあり、適当に歩いてみるのもおもしろかった。道に飾ってある花がとてもキレイだった。御手洗のみなさんはとても親切にして下さいました。御手洗のことや農業のことなどいろいろと教えて頂き、おもしろかったです。御手洗には初めて来たが、どこか懐しさのある町並みに不思議さを感じた。町並み全体が好き。海と山が近くてそのどちらか楽しめるといふところが好き。展望台もよかったが、屋根がなくてちょっと暑かった。合宿2日目の夜に、御手洗でお世話になっている方々と持ち寄りパーティーをしたのがよい思い出です。

### ●御手洗のココが不思議

御手洗には初めて来たが、どこか懐しさのある町並みに不思議さを感じた。

# ゆたかまち句集

十二

草紅葉岬に集まる漁夫の墓

純生

舟大工聴くしちりきも望くだり 生氣

潮の香を若胡子屋より月の道 幹夫

瓢<sup>ひょう</sup>の実を遊女の墓に愛づるかな 洋子

新米のがんじがらめの荷の届く 梧朗

波跳んで高灯笼の愁思かな 清水

幌かけて紅葉降る日の乳母車 道女

保育所の歌ころろと蜜柑熟る 巢鳩

銀杏散るおのが明りの中に散る 梅月

平成や佛徒の島の蜜柑晴 柑風

露草や廃園にする覚悟なり 玲子

## 俳句・和歌を募集中！

みなさまからの俳句、和歌を常時募集しています。

豊町に限らず、テーマは自由。

たくさんの投稿をお待ちしております。

〔あて先〕

〒734-0302 広島県豊田郡豊町御手洗

豊町商工会「ゆたかまち句集」係まで

神峰山(大崎上島)から  
見る大崎下島(左端)と  
瀬戸の島々

ゆたかまちの味いまん 12

オレンジハウスの新鮮ないけす料理

# サザエの刺し身

いただきます!

コリコリ

プリプリ

サザエの  
つば焼き

おでん  
はおい



ドーン! 見よ、この迫力、このボリューム。本場豊島産のサザエは違う! ご主人の須賀さんは「ちょっと小ぶりの方がおいしいよ」と言われたが、やっぱ、大きいのがええなあ。特大1個1,200円(時価)。



おいしい!

ササエちゃん

大長港前のオレンジ色の屋根。元魚屋さんがはじめた島の食堂。とれたてのサザエで一杯やろう。

豊町の玄関、大長港の目の前にあるのが、今回ご紹介するオレンジハウス。みかんの島ならではのストリートな名前。屋根もオレンジ色。1階が食堂、2階3階が旅館。港の前とあって昼どきはたくさんの方で賑わう。この店は、もともと魚屋だったというご主人の須賀年則さんが18年前にはじめられた。一見ただの食堂のように思われがちだが、意外に知られていないのが、いけす料理。店内をよく見るとやたらと水槽が目につく。これは別に熱帯魚を飼っているわけではなく、すべていけすなのだ。特に自慢メニューは、サザエのつば焼き。なんと、とれたての新鮮なサザエや地元の魚介類が、一年中食べられる。「サザエには雄とメスがおり、刺身は雄の方が甘くておいしいね。まあ、どっちでもちゃんと処理するけど、大丈夫。新鮮なサザエは薄く切れば切るほど、身が締まってコリコリするんだよ。生きたるけえかねえ」。さすが、元魚屋さん。言うことが違う。さっそくいただと、コリコリしたサザエの食感とほんのり甘い磯の香り、あたままらない。思わずビールを注文してしまう。当然、夜は居酒屋になるそう。

フワッと  
生ビール



オレンジハウスの魚料理に欠かせないのがお酒。生ビールは800円(12)、中450円。他にも日本酒、焼酎と揃っている。

上/サザエのつば焼き。これも特大1個1,200円(時価)。フタを取ってハシではじくと、中からブルルンとサザエちゃんが出てくる。  
中/島の若者たち(?)に大人気のおでん牛スジ煮込み。塩をふって食べる。1本100円。  
下/帽子がトレードマークの須賀さん。店内には趣味の漫画本がいっぱい!!  
オレンジハウス 豊町大長5982-1 TEL 08466-6-4020  
宿泊/1泊2食付5,500円(税別)  
日曜・祭日が定休。但し旅館は無休。



# わたがまちなんでも伝言板



●軒先に四季の彩り

## 一輪挿しで町並み華やかに



「風情があつていい」と町内外で好評。それに好みの花を選んで飾っている。

今年4月から御手洗では、民家の軒先を一輪挿しで飾る取り組みがはじまりました。重伝建を考える会の女性メンバーが2月に「さくら部」を発足、「町並みに四季の彩りを」とツリガネソウやキキョウなどの種を小学校跡地にまき、住民が季節の花を摘めるよう計画しました。竹製の花入れに各戸が思い思いの花を生け、格子窓や板塀にさりげなく飾られた一輪挿しが町並みにいつそう風流な雰囲気をもたらしています。

## ●島が黄金色に染まる季節

## 「黄金の島」でみかん狩り

広島県一の出荷量を誇る一大ブランド「大長みかん」。豊町はその大長みかん誕生の地です。温暖な瀬戸内海気候と、水はけの良い石積み段々畑で栽培される大長みかんは、コクのある甘みとまろやかさが人気で、全国にファンがいます。自然の中で大きくたわに実った大長みかんのもぎたてを、

この機会にぜひ一度ご賞味ください。また、合わせて御手洗の観光もどうぞ。みなさまのご参加をお待ちしています。



観光農園でみかん狩りを楽しむ。



たわに実った観光農園の大長みかん。自分の手で収穫したみかんのおいしさはまた格別。

- 場所／豊町大長地区周辺
- 開園期間／10月20日～12月20日
- 開園時間／午前9時～午後4時
- 入園料／中学生以上1,500円（2kgのお土産付き）、小学生500円、幼児無料
- お持ち帰り時は時価となります
- お申し込み／「潮待ち館」観光交流センター
- TEL 084661712278

※前日までにお申し込みください

## せとうちおさんぽクルーズの航路



宮島・広島方面からの西ルートと三原・尾道方面からの東ルートがあり、瀬戸内海を周遊。

●お問い合わせ／瀬戸内海汽船  
TEL 082-25311212

昨年秋に行われた「せとうちおさんぽクルーズ」が好評につき今年も出航します。周遊エリアは瀬戸内海の下蒲刈島・上蒲刈島・大崎下島・大崎上島・大久野島・生口島の7島。期間は9月19日～11月22日の毎週金・土曜日で、2日間乗り降り自由なバスポートを発行中です。料金は大人5000円、小人2500円。ゆらりぶらりと秋の瀬戸内を気ままにお散歩してみませんか。

期間限定せとうち

おさんぽクルーズ

第2弾!



9月19日  
11月22日  
毎週金・土曜日



# おたより

読者の広場

たくさんのお便りありがとうございます。

「みたらい通志」の感想や、豊町を訪れた感想・豊町への希望などお便りください。お待ちしております。

■…読者からのお便り

★…編集室からの返事 (今回はYが担当)

■「豊町ワクワク探検絵図」を大切に持っています。一度は訪ねてみたいと思いつながら、いまだに足を向けていないので、今年はぜひ出かけてみたいと思っています。古い町並みや館、建物を見るのが好きなので、楽しみです。お土産には「御手洗の巻寿司」をと、みたらい通志を読んで心に決めておきます。次号も楽しみにしております。(夢ぶらごで手に入れて読んでます)

(清水裕子・41歳・広島市)  
★御手洗においでになるときは事前にガイドを頼んでおくというですよ。御手洗のことを深く知ることができます。「潮待ち館(084661712278)」へどうぞ。

■初めて訪れた御手洗。時間がゆつたり流れ、江戸時代からの栄華の名残。もう少しゆつくり歩いてみたかった。又、船大工の宮本様にまだまだお話を聞かせてもらいたかった。又、いつか行かせてもらいます。

(池田和栄・57歳・甲奴町)

★旅先で地元の人のお話を聞けるのは本当に楽しいことです。御手洗では通りがかりの地元の人に声をかけてくださるはずですね。これを私たちは「町民みなガイド」と称しています。

■御手洗は1回訪れたことがあります。この冊子を読んで、よく生活がわかりました。

(平田千佐江・48歳・広島市)  
★御手洗は重伝建地区(町並み保存地区)でありながらま

だまだ「土産物屋街」になっていません。空き家も増えているとはいえ、人もまだ300人ほど住んでいます。つまり、町のそここに生活の匂いがするんですね。それも御手洗のよさの一つです。

■桜桃号が十一号とは知らずに持って帰り、大変懐しく拝読しました。五月十八日、祖父の墓参りに訪ねました。町並み保存の熱意と、家々の花飾が素晴らしいと感じました。(中本昭夫・74歳・長崎県)

★「家々の花飾り」は町のカアちゃんたちが「御手洗を防いでくれた方々が、少しでも心地いように」ということで進めているものです。花も買うのではなく自分たちで育てているんです。おかげで「古い町に華やきが生まれましたね」と多くの方に褒められていたです。

■古き昔にタイムスリップ、栄えていた往時をしのび郷愁をおぼえる。訪れてみたい魅力いっぱい。楽しいですね。宮本さんの匠の技を見て話したい。きつといい顔してるんですよ。そして「むら吉」さんでお弁当買って丘公園ではおぼえて、海と御手洗の町を眺めて一日を過ごしたい。かみさんの喜ぶ顔が目につく。近々、友夫婦と出かけます。楽しい想い出ができるでしょう。お土産に檸檬酒を買って帰ります。みたらい通志は文字残らず目を通させる素晴らしい冊子です。

(太田二郎・69歳・広島市)

★「みたらい通志」をお褒めいただきありがとうございます。この冊子の名前は江戸時代に出版された「芸藩通志」からいただいたものなんです。これからもどうぞ「ひいきに」。

■6月25日に大崎下島 豊島岡村島をレンタサイクルで1周し、一峰寺山に登りました。美しい自然に心から感動しました。御手洗の町にも歴史と人の暖かさを感じました。入船のナス煮付・いなり、大長オレンジハウスの大ジョッキとサザエにもノックアウトでした。秋のミカンの時期にまた遊びに行きたいです。そう言えば、ミカン畑のオパアちゃんステキだったなあ。(西智・42歳・広島市)

★秋の蜜柑の頃は島が黄金色に輝きます。島の西側で蜜柑をほおばりながら夕日に見とれていると、身体中のストレスが溶解していくのがわかります。これこそ島の観光の醍醐味でしょう。

■前略ご免下さいませ

亡き兄の俳句が載っていると、義姉が夏蜜柑の中にみたらい通志を入れて送ってくれました。懐かしい風景、言葉、名前、味、一瞬にして故郷の色々の事が浮かんで参りました。古い歴史の町を守り伝統行事を継続していく事は、過疎化の中並ならぬ努力をされてこそ、故郷に帰り温かく迎えて戴く度に、心から感謝して居ります。この冊子を編集されるにしても大変な事だと思いますが、この通志がいっまでも継続されればいいなと

思います。夏蜜柑と共に届きしふると誌本当にありがとうございます。

(中村弘子・神奈川県)  
★ふるさととは遠きにありて思うもの、とは言いますが、地元に住んでいる者からすればやはり時々帰ってきてもらいたいものです。ここは何も変わらないなあ、家も、人も、言葉も、味も、と言ったさるのが実は嬉しくもあるのです。

■編集後記  
御手洗の人口は三〇〇人。そのうち六五歳以上の人が一八〇人。高齢化率六〇%ということになる。つまり、御手洗ではハタチ前後の若者を見ることはめったにない。そのような所に広大の学生たちが、自分たちの楽しみも兼ねて訪れてくれた。彼らにこのまま住みついてくれというのは無理な話としても、彼らのような若者がよつちゅう御手洗に来てくれれば、町の雰囲気がいずいぶん変わるのではないかと。若い人が来てくれる町とは何か、今回の調査団が何かを示唆してくれた。(Y)



これはなにかのー

えど まちな  
江戸の町並み



- 寛文 6年(1666) 町屋敷割りを藩より許され、人家が建ちはじめる
- 正徳 3年(1713) 町年寄り(大長村の統轄下)が置かれる
- 宝暦 9年(1759) 常盤町を中心とした大火(11月)
- 文化 3年(1806) 伊能忠敬が御手洗を測量した(3月1~3日)
- 5年(1808) 町庄屋が独自に置かれる(初代柴屋)
- 文政 9年(1826) シーボルトが寄港する
- 11年(1828) 千砂子波止の築造(11~12年)
- 11 ~ 13年 住吉神社造営(大坂 鴻池善右衛門寄進)
- (1828~30) ※千砂子波止の築造以後、住吉町の埋立てが進んだ
- 嘉永 6年(1853) 吉田松陰が長崎行きの途中に立ち寄る
- 元治 1年(1864) 三条実美ら五卿が多田勘右衛門宅(竹原屋)に寄寓する(7月22日~24日)
- 明治12年(1879) 御手洗町が大長村より独立
- 昭和31年(1956) 1町2村合併して豊町となる
- 平成 6年(1994) 国選定 重要伝統的建造物群保存地区となる

プレゼント  
コート

オレンジハウスの新鮮な  
いけすき料理

サザエの刺し身...

(またはつば焼き)

2名様!!



ササエちゃん



サザエの刺し身

サザエのつば焼き

本誌ゆたかまちの味じまん(P.8)でご紹介した、大長港前の食堂オレンジハウスの名物料理。プリプリの「サザエの刺し身お食事券」を2名様にプレゼント!!

■応募方法/ハガキに「サザエの刺し身お食事券希望」と書いて、住所・氏名・年齢・職業・電話番号、そして「みたらい通志」に対するご意見、ご感想をお書き添えのうえ、下記までお寄せください。抽選で2名様にプレゼントいたします。当選は発送により発表にさせていただきます。

■あて先/〒734-0302 広島県豊田郡豊町御手洗  
豊町商工会「みたらい通志」プレゼント係

■締め切り/平成15年12月31日(当日消印有効)

豊町(御手洗)への交通のご案内



- 今治から大長まで...高速艇で30分
- 竹原から大長まで...高速艇で40分
- 仁方から大長まで...高速艇で40分
- 三原から大長まで...高速艇で1時間
- 呉から大長まで...高速艇で1時間
- 広島から大長まで...高速艇で1時間25分(または)高速バスと高速艇で約2時間
- 広島空港から大長まで...ジャンボタクシーと高速艇で約1時間30分
- 大長から御手洗まで...バスで3分(または)徒歩15分
- 大長から久比まで...バスで約10分(または)レンタサイクルで20分
- 大長から沖友まで...バスで10分(または)レンタサイクルで25分



観光案内(観光の問合わせ・ガイド申込等)  
■潮待館・観光交流センター  
TEL・FAX 08466-7-2278